

仕事への「主体性と当事者意識」を上げる

実践トレーニング研修

とき 2025年 9月 4日(木) 9:30~16:30

ところ 中産連ビル 研修室(名古屋市東区白壁3-12-13)

～“できない”・“無理”を“まずは、やってみる！”に仕事の向き合い方を変えてみよう！～

ご参加
いただきたい方

● 新入社員～若手・中堅社員

※その中でも特に

- 受け身で指示を待つことが多く、自分から積極的に動けない方
- 新しいアイデアを思いついても、行動や提案ができるない方
- 以前から同じ課題を抱え続け、今もなお克服できていない方

“当事者意識を持って主体性”を発揮する実践感覚を身につける！



- 自分の考えやアイデアは持っているが、なかなか行動に移せない…
- 以前から克服できていない課題を今も抱え続けており、半ばコンプレックスと化している…
- 上司や同僚からは、自分から提案して周りを巻き込んで欲しいと言われるが一步踏み出せない…
- 行動することの大切さはわかっているが、失敗をしたら責められたり、責任を取らされるので、どうしてもはじめの一歩が踏み出せない…
- 泥臭く回り道をするよりも、要領良くスマートに仕事をしたい。

若手・中堅社員の方であれば、このようなことを一度は考えたことがあるのではないでしょうか？

◆ 活躍している(充実した仕事をしている)人ほど、実は、たくさんのチャレンジと失敗をしている！

歴史的偉人の伝記によれば、自分自身で考えて多くの経験や失敗をしてきた人ほど大成していることがわかります。プロスポーツ選手や頭角を現した社員をはじめ一流と言われる人ほど、誰よりも多くチャレンジをして様々な経験を積み重ねています。このことからも、仕事で成長するために必要なことは「自分の意思で“はじめの一歩”を踏み出してみる(まずは、やってみること)」に尽きます。

しかし、現実として、今国内企業を取り巻く環境は、コスト・品質をはじめ成果や効率への要求レベルが高く、失敗に対する寛容さと中長期の視点で若手・中堅社員の成長を見守る余裕があるとはいえない状況です。停滞感や閉塞感に包まれた組織では、イノベーションがのどから手が出るほど必要とされているにもかかわらず、若手・中堅社員が挑戦できる環境が整っておらず、挑戦する機会がないまま管理職やリーダー職に昇格してしまうという残念なケースも珍しくありません。

実際、頭が柔らかく伸びしろが大きい若手・中堅社員は「新しい経験」から学び取る力が中高年社員と比較して高いことは衆知のとおりです。だからこそ、中高年になってからでは遅く、若手・中堅の時代に主体的にチャレンジすることを当たり前の感覚にしていただきたいのです。そうは言っても、当事者意識や主体性は理論や手法を理解するだけで簡単に身につくほど生易しいものではありません。

そこで、本研修では、「問題解決に向けてチームで行動する体験(冒険)学習」という挑戦(チャレンジ)を通して、

- 自分の力を出し切り最後まで諦めずにやり切ることによって、真の達成感を味わう。
- 考えてから行動するのではなく、行動しながら考える(考えながら行動し、必要に応じて軌道修正していく)ことによって、仕事を前に推し進めていく大切さを実体験を通して学ぶ。
- 「小さな修羅場体験」(一皮むける体験)を通して、今まで踏み出せなかった「最初の一歩」を踏み出す力を身につける。
- チャレンジしないことや遠慮して何も言わないことは、チームにも自分にもマイナスにしかならないことを身を持って体験する。

このように、複数の自らチャレンジする体験(冒険)を通して仕事で「当事者意識」を持って「主体性」を発揮する力を身につけます。

また、過去に本研修に参加した方からは、研修後に、

- 簡単に諦めてはダメだと思った。自分で勝手に限界を作らないことの大切さを学びました。(紙・文具製造販売 30歳)
 - “まずは、やってみる”ことが、次への行動を生む(行動にも“慣性の法則”が働く)のは本当なのだと強く実感した。(サービス 26歳)
 - 当事者意識が足りなければ、行動しても決して目的を達成できないと実体感を通して強く感じた。(機械・部品 27歳)
- といった感想をいただいております。

若手・中堅社員の時代に「主体性」と「当事者意識」を発揮する習慣をしっかりと身につけておくことで、自分の発揮能力のベースを底上げし、将来着実に活躍の場を拓げていくことができるようになります。この機会にぜひご参加ください。

◆ 研修プログラム (9:30~16:30)

1. オリエンテーション

- ・研修の目的、目標、進行ルールの確認

2. 活動準備

体験学習

- ・心と体の準備運動 ～参加者と講師の心理的に安全な関係＆場の構築

3. 現状と成長領域の理解

体験学習

- ・3つのゾーンの(快適ゾーン／ストレッチゾーン／パニックゾーン)を体験と理解

4. 自分自身の行動を決めている“根本”を理解する

- ～行動基準の源泉を知る

体験学習

- ・サブパーソナリティランプを使って自己の“根本”を知り、どんな心理状態の時に自分が前向きなれるのか、あるいは後ろ向きになってしまうのか知る

5. 快適ゾーン(居心地のいい環境)から飛び出して、チャレンジ体験する

体験学習

- ・自分の行動パターンを理解し、果敢にチャレンジしてみる

・自分の行動パターンの理解をもとに「仲間と協力」し、「仲間を頼る」体験をしてみる

6. 人が無自覚に主体性が奪われる構造を理解する

～見える・見えない立場の体験

体験学習

- ・なぜ人は「指示待ち」や「他責」になりやすいのかを体験により理解する

- ・「指示待ち」や「他責」からの脱出方法

- ・行動につながりやすい型(GRIPモデル)を使って、問題解決の着手から完遂までを体験する

7. 主体性を持った自分を擬似体験を通して実感する

～難題に対し、主体的にチャレンジする

体験学習

- ・ここまで集大成により[自ら仕事を取りに行く]主体性の発揮にチャレンジして、成功体験を味わう

8. 学びの整理

- ・全体の振り返り、質疑応答、明日からの行動宣言

講 師

中産連パートナー講師 (人材&組織開発コンサルタント)

外資系製薬会社で営業担当、新製品市場のマーケティング担当を経て、人材育成部門に異動。新入社員から管理職までの階層別研修、ビジネススキル研修の体系づくりや運用を担当。その後、ファシリテーターの活動に惹かれ、独立起業。現在は、企業や学校において、価値観が異なる他者と協働・連携できる「人間関係構築力」、若手・中堅社員を対象にした「主体性」「オーナーシップ」の掘り起こし、「最後までやり抜く力」の養成、バラバラな個の集団を一つに束ねチーム力を最大する「チームビルディング」「組織の絆づくり」など、人材&組織開発のファシリテーターとして、体感体得型の研修得意とし、人が“心の奥底に持つ変わりたい気持”を後押しし、行動変容につなげるファシリテーションが好評。

仕事への「主体性と当事者意識」を上げる実践トレーニング研修 (9/4)

参加要項/参加申込書

参加費 (1名様)

	中産連会員	中産連会員外
セミナー受講のみ	36,300円(消費税込)	41,800円(消費税込)
フォローアップ(事後行動支援)付き★	42,900円(消費税込)	48,400円(消費税込)

★自分の職場でしっかりと当事者意識を持って主体性が発揮できるようになります。ラーニングコーチが1ヶ月にわたって行動支援いたします!

申込方法

- ①下記申込書に必要事項を記入の上、切り取らずにFAXにてお送りください。
中産連ホームページの各セミナー詳細からもお申込み可能です。(https://www.chusanren.or.jp)
申込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。
- ②受講票と請求書を開催日の約2~3週間前に申込責任者宛へ郵送します。
※コンサルタント及び教育機関の方のお申し込みはお断りしております。ご了承ください。

キャンセルについて

- お客様のご都合によりキャンセルされる場合には、以下のキャンセル料を申し受けます。
開催日の前日（土日祝日を除く）・当日····受講料の100%

申込み・問合せ先

一般社団法人中部産業連盟 マネジメント研修事業部 小橋川
〒461-8580 名古屋市東区白壁3-12-13 TEL: 052-931-9824 e-mail: kohashikawa@chusanren.or.jp

年 月 日

会社名

〒

所在地

TEL

FAX

フォローアップ(事後行動支援)を希望(✓)	参加者 所属部課・役職名	参加者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス

申込責任者 所属部課・役職名	申込責任者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス

会社概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数	今回ご記入いただく個人情報は、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。 詳細は当連盟HP(http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html)をご覧下さい。同意のうえ、ご協力ををお願い致します。関連情報が不要の場合には下記にレ点のご記入をお願い致します。
		百万円	人	
中部産業連盟会員(○印をお付けください)	会員	・	会員外	<input type="checkbox"/> セミナーなどの関連情報の案内を希望しない